



THE INTERNATIONAL SKI COMPETITION RULES (ICR) JOINT REGULATIONS FOR ALPINE MASTERS

INCL. CHANGES AND PRECISIONS 2023

EDITION AUTUMN 2023

(日本語 : 2023 年 12 月 1 日版)
※英語版と相違のある場合は、英語版を優先する。

FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE SKI
INTERNATIONAL SKI FEDERATION
INTERNATIONALER SKI VERBAND

INTERNATIONAL SKI AND SNOWBOARD FEDERATION

Blochstrasse 2; CH- 3653 Oberhofen / Thunersee; Switzerland

Telephone: +41 (33) 244 61 61

Website: www.fis-ski.com

All rights reserved.

© Copyright: International Ski and Snowboard Federation FIS, Oberhofen, Switzerland, 2020.

Printed in Switzerland

FIS Masters Rules Alpine Skiing

目 次

- A) **国際マスターズアルペンスキー競技規則
("ICR-MASTERS")**
 - MA 1) 原則
 - MA 2) 競技者の資格 - FIS マスターズ・コード番号
 - MA 3) 年齢グループ（カテゴリー）とクラス
 - MA 4) コース
 - MA 5) 用品規則とコントロール
 - MA 6) エントリー
 - MA 7) ドロー
 - MA 8) レースポイント、FIS マスターズポイント
 - MA 9) 競技ごとの滑走本数
 - MA 10) スタート順とスタートインターバル
 - MA 11) リスクと安全面
 - MA 12) 競技申請と技術代表 (TD)
 - MA 13) 国際競技規則 ICR との関連
- B) **FIS マスターズ・レース運営組織への規制とガイドライン**
 - I) **主催者への一般的な規制とガイドライン**
 - MA 21) 定義
 - MA 22) 競技の種類
 - MA 23) マスターズ競技に関連する規則
 - MA 24) FIS-ICR マスターズアルペン競技規則の規定
 - MA 25) 技術的な必要条件
 - MA 26) レースの準備
 - MA 27) その他の準備事項
 - MA 28) 開催費
 - II) **レースコース**
 - MA 31) コースセット
 - MA 32) スラローム
 - MA 33) ジャイアントスラローム
 - MA 34) スーパーG
 - MA 35) アルペン複合
 - III) **競技の実施**
 - MA 41) ウォームアップ
 - MA 42) コースインスペクション
 - MA 43) スタート間隔とコース整備
 - MA 44) 基本事項

IV) 運営管理

- MA 51) レースプログラムと計画
- MA 52) エントリー、FIS コード、エントリー費、返金
- MA 53) チームキャプテンミーティング、ドロー
- MA 54) レースオフィス、掲示板
- MA 55) ワックスルーム
- MA 56) スタートナンバー、ビブ
- MA 57) フィニッシュのリザルト掲示
- MA 58) リザルトリスト、ペナルティ
- MA 59) 表彰式
- MA 60) 懇親の場（ソーシャルプログラム）
- MA 61) スポンサー

C) 「FIS WORLD CRITERIUM MASTERS ALPINE SKIING」 – 特別規則

- MA 71) 公式名称
- MA 72) 選任、条件、開催頻度
- MA 73) 参加者数の制限
- MA 74) FIS インспекション
- MA 75) エントリーの締め切り、支払い、返金
- MA 76) メダル
- MA 77) 晩餐会
- MA 78) スタート番号 (通常方式) - 「個人割当」ビブ・システム

D) 「FIS マスターズカップ最終戦」 – 特別規則

- MA 81) 総合マスターズカップ
- MA 82) ポイント計算
- MA 83) 最終戦における 2 倍のポイント
- MA 84) タイブレーク規則
- MA 85) 主催者の任務
- MA 86) 総合成績の取り纏め
- MA 87) 賞品・賞状
- MA 88) 表彰式 – 閉会晩餐会

**A) 国際マスターズアルペンスキー競技規則
("ICR-MASTERS")**

MA 1) 原則

本規則の目的は、30 歳以上(マスターズ)のアルペンスキーヤーに以下の場を提供することである。

- 同じような年齢と体力のスキーヤー同士が公平とスポーツマンシップの精神を持って競う。
- 望ましい目標へ向けてのトレーニングにより、長期にわたる体力面や健康の向上を図る。
- 各国スポーツ愛好家間の友情と相互理解の促進を図る。
- 競技スキーを、世界中に振興させる。

MA 2) 競技者の資格 - FIS マスターズ・コード番号

a) 年齢と会員登録

参加者は、各国スキー連盟に登録された男女のスキーヤーで、「当該競技年度」の 12 月 31 日までに満 30 歳に達している者に限る。競技年度は 7 月 1 日に始まり、翌年の 6 月 30 日に終了する。

例：1980 年 1 月 1 日から 12 月 31 日の間に生まれた競技者は、(2010 年 7 月 1 日に始まる) 競技年度 2010/2011 に初めてマスターズ競技の対象となる。

b) FIS マスターズ・コード番号

- FIS マスターズ・レースに参加する各選手は、「ACTIVE」な FIS マスターズ・コード番号 (FIS Points Rules 2.1 & 2.1.1 参照) を持たなければならない。この番号は、選手の識別と電子的なデータ転送に使用される。一選手は、一意の FIS マスターズ・コード番号だけを持つ。
- FIS マスターズ・コード番号の取得方法は、規則 MA 52) b) を参照。

MA 3) 年齢グループ (カテゴリー) とクラス

主催者は、全ての公式文書 (特にリザルトとスタートリスト) に於いて、各クラスに対し正確な用語 (本項に示す通り) を用いることが求められる。

男子

カテゴリー・クラス	年齢	カテゴリー・クラス	年齢
A (グループ A)		B (グループ B)	
A 1	30-34	B 7	60-64
A 2	35-39	B 8	65-69
A 3	40-44	B 9	70-74
A 4	45-49	B 10	75-79
A 5	50-54	B 11	80-84
A 6	55-59	B 12	85-89
		B 13	90-94, etc.

女子

カテゴリー・クラス	年齢	カテゴリー・クラス	年齢
C (グループ C)		C (グループ C)	
C 1	30-34	C 7	60-64
C 2	35-39	C 8	65-69
C 3	40-44	C 9	70-74
C 4	45-49	C 10	75-79
C 5	50-54	C 11	80-84
C 6	55-59	C 12	85-89
		C 13	90-94, etc.

国ごとの参加人数に制限はない。(FIS World Criterium に関して同意される制限を除く)

MA 4)

コース

全ての競技は、以下の標高差を満たす FIS 公認コースで実施されなければならない。

a) スラローム

最低 120 m – 最高 180 m

全カテゴリー

a) 室内スラローム競技の場合：

最低 50m – 最高 80m

3 本レース

全カテゴリー

最低 80m

2 本レース

全カテゴリー

コースの数：全参加者数(A+B+C)が 90 名を超える場合、カテゴリーB/C と A では異なるコースがセットされなければならない。(World Criterium：各カテゴリーごとに別コースを必須とする。)

b) ジャイアントスラローム：

最低 250 m – 最高 350 m

カテゴリー A

最低 200 m – 最高 300 m

カテゴリー B/C

コースの数：3 カテゴリーの内最も多い参加者数のカテゴリーと、最も少ないカテゴリーの参加者数の合計が 150 名を超える場合、2 本の異なるコースが必須となり、その内 1 本を最も人数の多いカテゴリーが、もう 1 本を少ない人数の 2 カテゴリーで使用する。この条件の中で同一コースの使用が許される場合、可能であれば 2 つの異なるスタート台を準備する。

(World Criterium：カテゴリーごとに別コースを必須とする。) – 規則 MA 33) を参照。

c) スーパーG：

最低 275 m – 最高 400 m

全カテゴリー

マスターズ・レースのスーパーG コースは、通常の国際スーパーG より短く、ターン半径が小さめでスピードも遅く、従ってより安全でなければならない。3 カテゴリーの内最も多い参加者数のカテゴリーと、最も少ないカテゴリーの参加者数の合計が 150 名を超える場合、2 本の異なるコースが必須となり、その内 1 本を最も人数の多いカテゴリーが、もう 1 本を少

ない人数の 2 カテゴリーで使用する。(World Criterium : A、B と C のスーパーG は、異なる日に別のコースにて実施されなければならない。もし同日に実施する場合は、異なった斜面を使用しなければならない。)

d) アルペン複合

上記 c)に記載のスーパーG の標高差と、a)に記載のスラロームの標高差を適用。3 カテゴリーの内最も多い参加者数のカテゴリーと、最も少ないカテゴリーの参加者数の合計が 150 名を超える場合、2 本の異なるコースが必須となり、その内 1 本を最も人数の多いカテゴリーが、もう 1 本を少ない人数の 2 カテゴリーで使用する。

MA 5)

用品規則とコントロール

a) スキー、プレート、ブーツのルール

「FIS 競技用品規格」に照らし、以下の用品ルールはマスターズ・レースにとって、最も重要である。

マスターズにおける外形仕様

マスターズ競技者へ向けて、スキーの長さ(スーパーG を除く)、ラディウス、形状と幅に関する以下の仕様は推奨である。スーパーG の最小スキー長は、必須とする。55 歳以上の女子と 65 歳以上の男子に付いて、スキーの長さ、幅、並びにラディウスは規制外とする。

- スラローム：長さ： 男子： 165 cm –
女子： 155 cm –
- ジャイアント 男子： 185 cm – 5 cm tolerance = 180 cm
スラローム： ラディウス 27 m
女子： 180 cm – 5 cm tolerance = 175 cm
ラディウス 23
- スーパーG：
最小スキー長は必須、ラディウスは推奨：
男子： 185 cm 許容差なし
ラディウス 27 m
女子： 180 cm 許容差なし
ラディウス 23 m

スーパーG に於いて、ジャイアントスラロームスキーの使用も可。

スキー/プレートとブーツ底の厚さの最大値：

スキー滑走面からブーツ底までの最大値： 50 mm – 必須

ブーツ底から足裏までの最大値： 45 mm – 推奨

b) クラッシュヘルメットのルール

(規則 MA 11 参照) (安全面) いかなる場合にも、競技者並びに前走者は「FIS 競技用品規格」3.6.5 に適合したヘルメットの装着が義務付けられる。

c) コントロール

- TD は、ランダムに選ばれた競技者に付いて、「FIS 競技用品規格」に適合しているかどうかチェックする責任を持つ。
- しかしながら、競技者あるいはチームキャプテンから問われた場合には、競技者の用具をチェックする義務を負う。コントロールは、できる限りスタート前に行われること。TD は、この任務を他のジュリーメンバー(スタート審判)に、委任しても構わない。
- 抗議がスタート前に提示された場合、プロテストフィーは課されない。通常のプロテストフィーは、対象の選手がスタートした後の抗議に適用される。

MA 6)

エントリー

エントリー(FIS エントリーフォームを使用し、生年、FIS マスターズ・コード、現在のポイント記載)は、各国スキー連盟から送付され、組織委員会に最初のドロウの 24 時間前までに、できる限り最初のレースの 4-7 日前までに届く必要がある。(World Criterium : 最低 20 日前が必須)遅れたエントリーに関しては、組織委員会の裁量で判断する事が認められている。各国スキー連盟はエントリーされた競技者が FIS 選手宣誓書に署名し、「ACTIVE」な FIS マスターズ・コード番号(FIS Points Rules 2.1.1)、並びに国際競技ライセンスを所持していることに責任を持つ。
FIS コード番号に付いては、MA 52 c)参照。

MA 7)

ドロウ

FIS マスターズポイントはクラス毎のシードを決める際に用いられる。第 1 シード(各年齢クラスの参加人数とポイントギャップ*を考慮して、クラス毎に 2 名から最大 7 名の間でジュリーにより決定される)がドロウされ、その後にポイントの低い順に選手が続く。無ポイントの競技者は、最後にドロウされる。*ポイントギャップ(第 1 シードグループの最初と最後の競技者の差)は、100 マスターズポイントを超えないことを目安とする。

MA 8)

レースポイント、FIS マスターズポイント

a) レースポイント

- レースポイントは、アルペンの計算方式に従ってカテゴリー (A, B, C) ごとに分けて計算され、各カテゴリーの一番速い競技者が 0 ポイントを得る。ペナルティは TD またはレース主催者が計算し、レースポイントに加算される。ペナルティは FIS アルペンポイント規則の 4.4 項に従って計算される。
- スラロームポイントはスラローム、ジャイアントスラロームポイントは GS、スーパーG ポイントは SG で採用する。(スーパーG ポイントは、滑降競技実施の場合ドロウに活用できる。) マスターズのアルペン複合では、アルペン複合ポイントと SG ポイントが競技者に付与される。

b) FIS マスターズポイントリスト

FIS TD に監督され、FIS カレンダーに掲載された全ての FIS マスターズ・レースは、FIS マスターズポイントリストに有効となるポイントの対象となる。ミニマムとマキシマムペナルティ、F 値、並びにアダーは、レースのレベルに合わせて、マスターズ・レース小委員会により決定される。

ベースリスト

- b) 1 ベース FIS ポイントリスト (BL) (*)
ベース FIS ポイントリスト (BL) は、6 月中旬に発行される。
- b) 1.1 前シーズン中の種目ごと 2 ベストリザルトの平均が、BL リストの算出に用いられる。
- b) 1.2 前シーズンの期間中に当該アルペン種目 (滑降、スラローム、ジャイアントスラローム、スーパーG 或いはアルペン複合) で、1 つしかリザルトを残せなかった競技者には、当該競技者のリザルトに 20% (+) が加算される。
- b) 1.3 前シーズンの期間中に当該アルペン種目 (滑降、スラローム、ジャイアントスラローム、スーパーG 或いはアルペン複合) で、1 つもリザルトを残せなかった競技者には、以前の BL ポイントに 50% (>) が加算される。これらの競技者は、「ACTIVE」として FIS に登録されていなければならない。
- b) 1.4 インジャリーステータスが認められ、当該シーズン中に競技者が全種目を通じて 5 回以上スタートを切っておらず、なお且つ最新のポイントがプロテクトされたポイントより良くない場合は、10% (#) がその競技者の BL に加算される。

- b) 1.5 ノーマル FIS ポイントリスト(NL)
ナンバー 1 は、BL を基本に 7 月 1 日発行される。
- b) 1.6 競技者の当該期間中各種目別ベスト 2 リザルトの平均が、BL より良い場合、そのポイントが NL に反映される。
- b) 1.7 1 つのリザルトしかなく BL ポイントもない場合、競技者のリザルトポイントに 20% が付加される。
- b) 1.8 BL ポイントがあり、当該種目でそのシーズンに 1 つのリザルトしかない場合、そのリザルトポイントに 20% を付加したものと、BL ポイントの良い方がその競技者の FIS ポイントとなる。
- b) 1.9 有効期間
リザルトの有効期間は、当該シーズン中である。

- b) 2 インジャリーステータス**
 - b) 2.1 登録
競技者が自らの怪我のためにシングルペナルティを申請する場合、当該国スキー連盟は直ちにあるいは遅くとも 4 月 30 日までに、公式用紙に診断書を添えて FIS に申請し承認を得る。公式用紙並びに診断書は、1 シーズンに限り有効である。
 - b) 2.2 競技者
 - 怪我をした時点とその後の最初の出走との間が、少なくとも 8 ヶ月経過していなくてはならない。
 - FIS がインジャリープロテクションを実施するために、競技者は「ACTIVE」として登録されていなければならない。
 - 全ての種目を通じて当該シーズン中に 5 回以上出走した競技者は、対象外となる。
 - b) 3 発行予定日と各リストの有効期間
発行予定日と有効期間は、マスターズ小委員会と FIS 事務局によって、毎年指定される。(規則 MA 58 参照)

MA 9)

競技ごとの滑走本数

a) スラローム

スラロームは必ず 2 本レースとする。C/B と A のレースは異なるコースで実施する。片方のコースでレース中にもう一方のコースのインスペクションができる様に、コースセットが管理されなくてはならない。コンディションによりジュリーが 2 本目をキャンセルする特殊なケースに於いて、小委員会が 1 本レースのスラロームを有効とする場合がある。

b) ジャイアントスラローム

ジャイアントスラロームを 1 本レースとするか、2 本レースにするかは任意とする。

c) スーパーG

スーパーG は、1 本レースとする。

アルペン複合

アルペン複合は、SG 1 レースと 1 本のスラロームで構成される。

MA 10)

スタート順とスタートインターバル

a) スタート順

- スラロームに於いて、3 カテゴリーが同じコースで競技する場合、女子(Cat. C)が男子(Cat. B)の前にスタートし、より若い男子 (Cat. A) が最後にスタートする。ジュリーは、C と B に有利となる場合にのみ、異なった判断を下す場合がある。
- スーパーG、GS 並びにアルペン複合に於いて、2 つの異なるコースが準備される場合、女子(Cat. C)がその与えられたコースで、最初にスタートする。ジュリーは、C に有利となる場合にのみ、異なった判断を下す場合がある。ジュリーは、最大人数のカテゴリーが最初にスタートするか、他の 2 つのより少ないカテゴリーが先にスタートするか、に付いても判断を下す。
- 各カテゴリーの中では、より高齢のクラスが先にスタートする。
- 2 本目のスタート順:
- ビボー方式に従い、1 本目の上位 5 競技者 (各 5 歳ごとのクラス内) が順位を逆転した順番で最初にスタートし、他の競技者は 1 本目の順位に従って、その後が続く。

b) スタートインターバル

スタートインターバルは、ジュリーが決定する。明らかに遅い競技者の後、並びにクラスの切れ目に於いては、より長いインターバルが推奨される。

MA 11)

リスクと安全面

a) リスク

- 原則として、マスターズ・レースは各自のリスク下にある。全ての競技者は、FIS 宣誓書に署名し所属する各国スキー連盟に提出しなければならない。

b) 安全面

- 全ての大会に於いて、「FIS 競技用品規格」3.6.5 に適合したクラッシュヘルメットが必須である。悪天候、雪のコンディション、コースの準備状況、あるいは視界などにより適正なレースの完了が危険にさらされる場合、ジュリーはレースの続行、中断、延期、あるいは中止の判断を行う。
第一に考慮することは、競技者の安全と健康である。

MA 12)

競技申請と技術代表 (TD)

a) 競技申請

- FIS マスターズ・レースと公認されるためには、当該国スキー連盟を通じて FIS 申請書を提出しなければならない。(規則 MA 72)の第一項は、全ての FIS マスターズ・レースに有効である。

b) 技術代表 (TD)

- 技術代表は、指名される。その諸経費は、ICR 602.5 に沿って主催者により支払われる。
- レースを指揮・監督し TD レポートを作成することに加え、TD はリザルトを以下の通り提供する責任を持つ。(電子文書並びにハードコピー)：
- FIS 事務局のマスターズ・セクレタリに宛て、マスターズポイントリストへの入力と保管の為に。
- FIS マスターズカップのリザルト(World Criterium を含む) は、FIS マスターズカップ("Masters World Cup")の総合ポイント計算責任者宛に。
- マスターズ小委員会委員長と開催国のマスターズ委員長宛に、ハードコピーを。
- アドレスとコンピュータフォーマットに付いては、規則 MA 58)を参照。
- TD の責務として、用品規則を確認すること、規則 MA 5) b) 参照。

MA 13)

国際競技規則 ICR との関連

これらのマスターズ規則は、FIS 国際競技規則の一部である。マスターズ規則に特段記載されていない事項に付いては、ICR に記載の規則が適用される。

B) FIS マスターズ・レース運営組織への規制とガイドライン

I) 主催者への一般的な規制とガイドライン

MA 21) 定義

- 「規制」には、規則と同様に執行義務がある。
- 「ガイドライン」は推奨とし、長年のマスターズ・レース運営経験に基づき、一般的な諸問題を避けるために整備する。

MA 22) 競技の種類

国際マスターズ・レースは、下記の通り国際スキー連盟(FIS)の後援の下に実施される:

- 非公式には「マスターズ世界選手権」としても知られる「FIS World Criterium Masters Alpine Skiing」(WCM)は、毎年開催される。
- 男女約 20-30 レース開催の「FIS マスターズカップ」(FMC)は、競技年度の最後に最終戦を行い、ワールドカップシステムに沿って総合マスターズカップ優勝者を決定する。
- 「Internationaler Alpencup」(ALP)は、従来 3-4 の男子ジャイアントスラロームで構成され、最終戦を行いポイントに依り総合優勝者を決める。
- 他の国際「FIS マスターズ・レース」(MAS) は、FIS カレンダーに記載される。
- 「Continental Cups Masters」(COC)
-

MA 23) マスターズ競技に関連する規則

- FIS - ICR マスターズアルペンスキー競技規則 上記 MA 1) – MA 13)
- FIS 一般 ICR (国際競技規則)
「特定の規制」を含む「規制とガイドライン」MA) 21 – MA) 88
- FIS 事務局から少なくとも年一回発行される FIS ポイントリスト
- FIS マスターズカレンダー
- 公認コース規則 (Homologation Rules)

MA 24) FIS-ICR マスターズアルペン競技規則の規定

- 1) 原則
- 2) 競技者の資格
- 3) 年齢グループとクラス
- 4) コース
- 5) 用品規則とコントロール
- 6) エントリー
- 7) ドロー
- 8) レースポイント、FIS マスターズポイント
- 9) レースごとの滑走本数
- 10) スタート順とスタートインターバル
- 11) リスクと安全面
- 12) 競技申請と技術代表(TD)
- 13) 競技規則 ICR との関連

MA 25) 技術的な必要条件

- FIS コース公認規則に規定される、FIS 規則に適合したコース設定。
- SL、GS 並びにスーパーG、それぞれの種目別規則に従う。
- スラロームの斜面は、並行した 2 本のコースを設定できることが最重要。
- 大きな大会を除いては、1 セットの計時機器（Timing Booklet に沿った範囲で）、1 つのフィニッシュエリア、並びに 1 グループの旗門審判員、コース係、役員の構成で構わない。
- できる限り二つの異なる GS コースとするが、World Criterium を除き同一コースでも構わない。

MA 26) レースの準備

- 少なくとも 1 年前までに、国内スキー連盟の承認を得る。
- FIS 申請書を用い、当該国スキー連盟を通じて 4 月ないしは 5 月に申請を行う。
- マスターズ競技会に関する全ての関連規則を入手する。
- もし望むならば、希望する TD が自国の TD フォーラムの長により指名されるように提案する。（TD は、自国からの指名でも構わない）
- リフト代の割引、できれば無料化を、地元のリフト会社と交渉する。
- 選手並びに同行者向けの専用パス。
- 使用するコンピュータソフトがマスターズ競技に適し、FIS 事務局の要求に適應していることを確認する。規則 MA 58)参照

- 全ての関連する各国スキー連盟代表者、役員並びに競技者に、レースプログラムが余裕を持って提示され、インターネットを通じて掲示されるように準備する。(少なくとも大会の 3-6 週間前、場合によっては前の大会において) 規則 MA 51)参照
- 宿泊予約センター（地元の観光局）を準備する。幅を持った価格帯の提供を考慮。
- 約 1 ヶ月前に、自国スキー連盟あるいは FIS の経験あるマスターズ役員と連絡を取り、地元の役員向けに大会組織の詳細に関する教育を要請する。
- レースオフィスを開設する。マスターズ競技者から評価の得られる、親切で信頼できる要員構成とする。

MA 27)

その他の準備事項

メディアとの関係を築く。地元、地方、全国の報道機関、ラジオ、テレビ局など。

- 地元での広報活動
- ウェブサイト/インターネット
- 新聞、ビブ、スタート並びにリザルトリスト、プラカードへの広告、あるいは資金サポートなどのスポンサー確保
- 2 日間以上の大会の場合、選手のために懇親の場を提供する。理想的には、キャプテンミーティングの後 18 時から 19 時半とし、出来れば表彰式と共にプログラム変更などの告知の場とする。
- 主催者は、各クラスの 3 位（大きな大会の場合、出来れば 5 位）までにメダルかトロフィーを、また各カテゴリー A、B、C と D(D=55 歳以上の女子)のラップにトロフィーを授与する責任を持つ。各賞への記載内容は、規則 MA) 59 と MA) 76 に依る。
- 表彰式は毎日実施する。最終日に付いては、競技者の出発時刻を考慮して、出来るだけ早くフィニッシュエリア付近にて行う。

MA 28)

開催費

FIS マスターズ・レースとして公認された後、主催者は当該国スキー連盟を通じて、遅滞なく FIS カレンダー費を支払う必要がある。

レース終了後:

主催者は特段の通知を受けずとも、徴収したエントリー・フィーの一部を「国際マスターズ基金」に送金することを求められる。金額は、各レースに参加した競技者から集められたエントリー・フィーの数によって決められる。送金された金額の詳細リストは、マスターズ小委員長へ送付されるリザルトに同封する。

次に示す費用は、最後のレース終了後 2 週間以内に、ユーロ建てで以下宛に支払う:

受取人: FIS – International Ski and Snowboard Federation
受取銀行: UBS Switzerland AG
受取銀行住所: Bahnhofstrasse 45, CH-8001 Zurich, Switzerland
IBAN: CH20 0023 5235 FJ10 0349 5
BIC (SWIFT): UBSWCHZH80A

費用:

FIS マスターズカップ:	Euro 2.00	各競技者ならびに各レースごと
WCM:	Euro 2.00	各競技者ならびに各レースごと
他の全 FIS レース:	Euro 0.75	各競技者ならびに各レースごと

銀行送金は、受取人に手数料がかからない様に手配する。前レースの支払いが完了するまで、その開催地でのマスターズ・レース開催が保留される場合がある。国際マスターズ基金は、マスターズ小委員会によって管理される。

用途: これらの支払いは、国際マスターズ・レースのためにのみ活用される。(例: マスターズカップ総合優勝者トロフィーなど).

II)
MA 31)

**レースコース
コースセット**

主催者は経験のあるコースセッターの準備に責任を持つ。特段 ICR マスターズ規則に記載されている事項（例えば標高差の関連や、コースの特徴など）以外は、一般 ICR 規則が適用される。

- 落とし穴を作らず、フォールラインに沿ってリズムカルで流れる様なコースをセットする。
- 危険なジャンプを伴う高速なセットを避ける。
- スピードを落とすためのきついターンや、長い斜行などの特別な方法は避ける。
- 出来れば人工降雪で、硬く機械で圧雪したコースを準備し、全競技者へ公平なコンディションを確保するために、コース係員により継続的に整備する (規則 MA) 43 b 参照)。
- 全てのマスターズ競技に於いてコースセッターは、地形の特性、斜面の状況、競技者の技量を考慮して、旗門のセットを行う。
- 全ての競技コースは、各種目に適した FIS 公認コースでなくてはならない。
- 競技は、技術や高度な技量に依って計られるもので、転倒や失格によって決定されるものではない。競技者の安全が、最優先事項である。

MA 32)

スラローム

- 見通し良くリズムカルで、転倒を誘発させないセットとする。
- カテゴリー C/B と A の別コース設定に関して、規則 MA 4) a) を参照。
- 推奨されるレース順(役員が一組だけの場合):
 - C と B の競技者の 1 本目を行い、続いて A の 1 本目を実施; 同時に C と B の 2 本目セットとインスペクション。
 - C と B の競技者の 2 本目を行い、同時に A の 2 本目セットとインスペクション、続いて A の 2 本目を実施。2 本目のスタート順に付いては、規則 MA 10) a) 参照。

MA 33)

ジャイアントスラローム

- 1 本あるいは 2 本レースを、同一日に行う(2 本目のスタート順: ビボ一方式はスラロームと同様とする)。
- 理想的には、2 つの異なるコースで実施する (規則 MA 4) b 参照)。規則の許す範囲で、1 つのコースのみで実施される場合、コースは各カテゴリーの間で再整備される。
- 溝が出来たり岩が出てきたりした場合、1 メートル以内でターニングポールを移動することを推奨する。その場合、追加のインスペクションを不要とするために、基本的な滑走ラインが変更されてはならない。

- 抗議を避けるために、この事はチームキャプテンミーティングで合意されている必要がある、規則 MA) 43 b)を併せて参照。
- 推奨されるスタート感覚: 30 秒 – 規則 MA 10)参照。

MA 34)

スーパーG

- 極端なスピード、危険なジャンプや波打つコースを避け、危険個所には特定の警告を与え、安全なフィニッシュエリアの退避ゾーンを準備する。死角のある旗門構成を避ける！
- マスターズのスーパーG は、マスターズ競技者の技能に即したセットでなくてはならない – すなわち短めで、小さめのターン弧に依って、一般の国際スーパーG に比べてスピードは遅く、より安全なものとする。21 m ラディウスの GS 用スキーの使用が認められていることを考慮せねばならない – 規則 MA 4) c) ならびに MA 5)c)参照。
- 上記の規則は、一般 ICR で求められる旗門数の規定に優先する。

MA 35)

アルペン複合

- それぞれスラロームとスーパーG の規定に従って実施される、スーパーG とスラローム 1 本レースのリザルトとする。アルペン複合競技は、2 本レースで構成される。
- スーパーG は、スーパーG の公認コースで実施されなければならない。スラロームは、スーパーG と同じコースで実施しても構わない。
- 可能であれば2本とも同一日の開催が望ましいが、連続する二日間の開催でも構わない。

III) 競技の実施

MA 41) ウォームアップ

指定された競技用斜面でのフリースキーは禁止とし、厳密に管理されなければならない。可能であれば並行したウォームアップ用の斜面を準備する。

MA 42) コースインスペクション

雪の状態が軟らかい場合、サイドスリップ(横滑り)によって旗門間をインスペクションすると斜面が荒れてしまう為、サイドスリップは禁止とする。この事は、チームキャプテンミーティングに於ける発表だけでは不十分で、全ての選手にいきわたらせる為、スタート地点で告知されなければならない。旗門はテープ等で遮断するか、旗門内側のライン部分にポールを斜めに立てる必要がある。

MA 43) スタート間隔とコース整備

a) スタート間隔

競技の迅速な運営を図るため、適当かつ最短のスタート間隔 (30 秒)を選ぶ - 規則 MA 10) b)参照。

b) コース整備

どの競技に於いても、異なるカテゴリーが同一のコースで実施される場合、カテゴリーC とその後のカテゴリーとの間は(参加女子 25 名以上の場合)、少なくとも 10 分間中断されなければならない、更にカテゴリーA と B が同一コースの場合、B と A の間は出来る限りそれ以上中断する- これは、コース整備に十分な時間を確保するためである。溝が出来たり岩が出てきたりした場合、障害物を避けるためにターニングポールを最小限範囲で移動させる。この場合は、(追加のインスペクションに関連して)規則 MA 33)が適用される。

競技者の合間で継続した整備を実施するために、十分な数のコース係員を準備する。必要に応じて、コース整備には適当な道具を利用する。

MA 44) 基本事項

特にスラロームに於いて: 1 本目終了後コースをセットし直し、直ちにインスペクションを開始できる様に計画し、2 本目との中断時間をできるだけ短くする。

IV)
MA 51)

運営管理
レースプログラムと計画

a) レースプログラム

レースプログラムは英語を含む二ヶ国語で準備し、以下の内容を提示する:

- 主催者名、開催地名、開催日
- 組織委員会、役員、スポンサー
- 各競技とチームキャプテンミーティングの予定
- 申込期限 (規則 MA 6)参照) と申込先
- エントリー費と、リフト券の価格
- 競技コースの詳細データと場所
- 表彰式と、懇親の場の詳細
- 住所を含む宿泊施設の詳細
宿泊案内所の E メール、電話並びに Fax 番号
- 交通手段の詳細 (例: 地図、スキー場内の道順やエリアマップ)

b) レース計画

もし 2 つ以上の競技が実施される場合、競技者の出発時刻を考慮して、最も時間のかからない種目(GS)を、最終日に計画することが望ましい。

MA 52)

エントリー、FIS コード、エントリー費、返金

a) エントリー

- エントリーに付いては、規則 MA 6)参照
- チームキャプテンは、エントリーした競技者のうち実際の参加者をレースごとに再確認し、スタートしない選手を取り下げを求められる。
- 各国のマスターズ委員長は、エントリー費を払わずに理由なく競技に姿を現さないことで知られる競技者に対し、適正かつ妥当な対策を講ずることを期待される。

b) FIS マスターズ・コード

- 規則 MA 2) b) 参照
- エントリーには、各競技者の FIS マスターズ・コードが必要である。新しい競技者のコードは、各国スキー連盟により(正確に記載された氏名、性別、国籍、生年と共に) FIS 事務局(alpine@fisski.ch)に依頼され、(通常は同日の)業務時間内に返信で受領する。－あるいは:
- 各連盟は新規競技者をオンラインで登録できる－週末でも可(ログイン方法に付いては FIS Alpine Coordinator に問合せ)。

c) エントリー費

- 現状、エントリー費は、各競技、各人あたり 20 ユーロ(あるいは同等額)迄とする。スタート番号の配布時に、個別に徴収される。
(World Criterium に関しては、規則 MA 75)も参照

d) 返金:

- 規則 MA) 75 b) に記載されている返金に関する規則は、全てのマスターズ競技に有効である。

MA 53) チームキャプテンミーティング、ドロー

- 17 時前後に開始し、夕食前に終わる様にする。できる限り、
- レセプションあるいは表彰式を伴い、プログラムの最終変更が伝えられると良い。最初のレース前日のチームキャプテンミーティングは、参加者の遅い到着を考慮して、18 時か 19 時から始めることを推奨する。
- チームキャプテンのみの出席並びに参加とすることが推奨され、競技者は会場に余裕がある場合に、オブザーバーとしてのみ許される。
- ドロー – 規則 MA 7) 参照

MA 54) レースオフィス、掲示板

- レースオフィスは、明確に表示され見つけ易くなければならない。
- 掲示板は、オフィス時間外にも見られるように、オフィスの外に設置する。また、リフトの乗り場、降り場、並びにスタートに設置することも有用である。
- チームキャプテンが、個別に到着し別々の場所に宿泊する全てのチーム内競技者に接触できないことに留意する。
- 掲示必要事項: スケジュール、リフト運転開始時間、ビブ配布と表彰式の場所と時間、リフト券情報、競技コースアクセス、スタートリスト、リザルト、懇親会情報。

MA 55) ワックスルーム

大きな競技会に於いて、特に宿泊施設がその様な施設を提供できない場合は、ワックス・チューンアップルームを準備する。

MA 56) スタートナンバー、ビブ

競技者は、個別にビブを受け取る。限られた時間でエントリー費を徴収し、カテゴリー(A, B, C) ごとに配布を行うために、ビブの配布は十分な係員を配置し、秩序立って行われなければならない。カテゴリーごとに分かれた(状況によっては B/C 併記)スタートリストを、十分に用意する。大きな大会に於いては、ビブの一部を競技前日の晩にレースオフィスで配布することも考慮する。

MA 57) フィニッシュのリザルト掲示

重要: リザルト掲示板はフィニッシュエリアの安全な場所に設置され、競技者ごと、年齢クラス別に掲示されなければならない。フィニッシュエリアに、複数言語でのアナウンスと電光掲示板を用意する。

MA 58)

リザルトリスト、ペナルティ

a) リザルトリスト

- リザルトリストでは、(正しい表記の氏名に加え)コード番号、国表示、並びに生年にて、各競技者が確認できなくてはならない。
- 各競技者へのコピーを用意し、出来るだけ早く、遅くとも表彰式の前までに配布する。必ず適切な年齢クラスごと(30-34, 35-40, 40-44等)に分けられ、可能であればカテゴリーB/C はカテゴリーA と別に発行する。

b) ペナルティ

- レースペナルティは、規則 MA 8)に従って計算される。

MA 59)

表彰式

- 規則 MA 27)も参照
- 表彰式は、伝統的な 3 段の表彰台を用い、華やかな雰囲気で開催する。賞品の展示、音響設備、スピーチ、観客の参加、音楽など全てが相応しい。
- 1 日の大会の場合、表彰式は競技の直後に近隣レストランの中あるいは外で執り行われるように準備する。
- 2 日間の大会では、初日の夕食前にカクテルレセプションの開催を推奨する。18 時に開始して、地元の名士の参加を得てのスピーチと、その日の表彰を行うことが適切である。2 日目は、競技者の早めの出発を考慮して、競技の直後にフィニッシュエリア付近にて、簡潔に実施する。
- 更に長い大会の場合は、2 日間の大会に順じた方法で執り行う。
- 規則 MA 27)の通り、各クラスの 3 位（大きな大会の場合、出来れば 5 位）までが、主催者よりメダルかトロフィーを受領する。更に主催者は、各カテゴリーA、B、C と D(D=55 歳以上の女子)のラップにトロフィーを授与して、それを讃える責任を持つ。

メダルは、金、銀、銅とし、直径 50 mm 以上でふさわしい外観を持つ。

トロフィーとメダルには、大会の公式名称 (FMC では“FIS MASTERS CUP”、 MAS では “FIS MASTERS RACE”、CoC の場合は “FIS CONTINENTAL MASTERS CUP”)、開催地名並びに開催年、種目と順位が記載されなければならない。更に、大会や開催地、スポンサーなどの表記 (絵柄やエンブレム)があっても良い。

MA 60)**懇親の場（ソーシャルプログラム）**

- 規則 MA 27) も併せて参照
- 各マスターズ大会に於いて、各国の選手仲間に懇親の機会を提供することは、とても重要である。従って、以下のことが求められる。
- 1 日から 2 日間の大会の場合 – 上記の規則 MA 59) 参照
- 大会が数日間にわたる場合は、二回かそれ以上の懇親の機会提供を考慮する – ウェルカムカクテルパーティーと選手権者表彰パーティーなど。
- 競技日の前日や、夕食後の開催は不評の傾向なので留意する。

MA 61)**スポンサー**

スポンサーとの協賛に付いては、組織委員会の裁量に任せられる。

C) 「FIS WORLD CRITERIUM MASTERS ALPINE SKIING」 – 特別規則

MA 71) 公式名称

英語: 「FIS World Criterium Masters Alpine Skiing」

ドイツ語: 「FIS Weltkriterium Masters Ski Alpin」

フランス語: 「FIS Criterium Mondial Masters Ski Alpin」

イタリア語: 「FIS Criterium Mondiale Masters Sci Alpino」

リザルト、大会プログラム、メダルなど全ての公示物には、完全な公式名称を使用する。一般的な「世界マスターズ選手権」、「Masters World Championships」は、非公式なサブタイトルとしてのみ使用されることがある。

MA 72) 選任、条件、開催頻度

- 国内スキー連盟からの立候補により、「World Criterium」はその国の競技連盟に割り当てられ、そこが規則 MA 28)に従った費用の支払い、並びに開催地を含む一番目の責任を持つ。選任を受けることにより両者は、FIS 規則とそれに沿ってマスターズ小委員会(あるいは委員長)の下す決定に基づく最終的な指示に、従うことに同意する。この条項は全ての FIS マスターズ競技に有効である – 規則 MA 12) a 参照。
- 開催地は、最低 2 つの FIS Masters Cup 競技を含む大会を少なくとも 1 回開催した後に、初めて指定を受けることが出来る。(小委員会の決定に依る場合を除く)
- 人工降雪は、全ての競技コースに必須である。
- カレンダーが最終決定される前に「Criterium」主催者は、雪質や宿泊施設の状況に関し最良の条件を提供するため、開催期日に関する最優先権を持つ。期日は、遅くとも大会の 15 ヶ月前に合意されなければならない。

「Criterium」は年に 1 回、できれば 2 月末から 3 月初旬の 5-6 日間にわたり、スーパーG、GS、と SL、それに加えて FIS マスターズカップに有効な GS の構成で開催される。「World Championships」の競技も、「FIS-MC」競技としてカウントする。

MA 73) 参加者数の制限

a) 主催者へ向けて

- 競技者の数は、その組織の力量と質に応じて 400 – 500 名程度に制限する。例外は、マスターズ小委員会の認可を得ねばならない。
- もし競技者が 400 名に満たない場合、開催国がその差を埋めることが許される。

- 参加者数が多くなり過ぎると予想される場合、小委員会委員長と連絡を取り、参加者の大きい国が参加者の制限を求められる。
- 主催者が参加者数の管理をしやすい様に、マスターズ小委員会は国ごとの参加者数を制限する権利を持つ。

b) 参加チームへ向けて

- FIS マスターズポイント保持者のみが、参加を認められる。例外として:
- 各国は、参加者の 20 %まで、無ポイント者をチームに加えることができる。(例: 40 プラス 8)
- ポイントを持つ参加者が 10 名以下の国は、10 名迄を無ポイント者で埋めても構わない。

MA 74)

FIS インспекション

- 主催者は、管理並びに必要なに応じて組織の詳細を改善する手助けを受けるために、FIS マスターズの査察員(小委員会委員長又は委員長に委任された造詣ある人物)を、自らの費用負担で招くことを求められる。時期的には、大会の 4-8 週間前が勧められる。
- 以下の項目が査察の対象となる：斜面、雪質、人工降雪、コース公認、フィニッシュエリア、会場へのアクセス、計時システム、FIS 対応ソフトウェア(FIS IT 部門から無償で入手可)、ビブ・システム – 規則 MA78)参照、競技者の負担費用 (エントリー費、リフト券、宿泊)、スケジュール、主催国からの参加者クォータ、レースオフィスと表彰式の場所、メダル、宿泊案内所、宿泊施設、ワックス・チューンアップ施設、懇親プログラム、組織の機能に関する打合せ、コースセッター、旗門審判員、コース係 (スリップクルー)、救急体制、レース・ドクター、ヘリコプター、最寄りの病院、ひいては成功に導くことに向け規則と手順に関して組織の陣容を整えるための手助け、など。
- 審査員の費用計算に当っては、技術代表に関する規則が適用される。「Criterium」の技術代表も、査察に参加することが推奨される。

MA 75)

エントリーの締め切り、支払い、返金

a) エントリーの締め切り

- 「Criterium」のエントリーは、最初の競技の 20 日前に締め切られる。各国のマスターズ委員長は、シーズン当初から大会までの間、毎月その国の参加人数予測を FIS マスターズ小委員会委員長に連絡することを求められ、小委員会委員長はそれを主催者に報告する。

b) エントリー費の支払い

- エントリー費は開催地に到着次第、ビブあるいはリフト券と引き換えで、個別に支払う – 規則 52) b)も参照。主催者は最初の競技の前に、競技者からエントリーしている全ての競技のエントリー費を徴収す

る権利を持つ。エントリーフォームには、それぞれの競技者が参加を予定している正確な競技種目の記載が求められる。

- DNS (did not start)の数を減らす努力へ向けて、チームキャプテンの責務に関する規則 MA 52) a) を参照。

c) 返金

- エントリー費が既に支払われており、競技がキャンセルされねばならなかった場合、競技日の前日までにキャンセルされたならば、エントリー費の全額が返金されなければならない(返金は、必ずレースオフィスで、競技者自身が受け取る)。コースがセットされ、競技当日にキャンセルとなった場合は、ジュリーと主催者の間で公平な解決策を見つけ出す。

MA 76)

メダル

主催者は、各クラス上位 3 名の競技者に、世界選手権に相応しい価値ある外観で、少なくとも 75 mm の径を持つ金、銀、銅のメダルを授与する責任を持つ。

更に主催者は、各カテゴリーA、B、C と D(D=55 歳以上の女子)のラップにトロフィーを授与する責任を持つ。

トロフィーとメダルには、大会の公式名称 (規則 MA 71) に従い – 「Alpine Skiing」は除いても良い)、開催地名並びに開催年、種目と順位が記載されなければならない。更に、大会や開催地、スポンサーなどの表記(絵柄やエンブレム)があっても良い。モデルあるいはデザインは、発注前に小委員会委員長あるいは FIS 審査員に承認されなければならない。

表彰式は、世界選手権に相応しい華やかな雰囲気計画されなければならない。

MA 77)

晩餐会

懇親のハイライトとして、大会の後半に但し最終日は避けて、洗練されたディナーパーティーを開催する。表彰式に続いて開催の場合には、移動に費用のかからない様にする。

MA 78)

スタート番号 (通常方式) - 「個人割当」ビブ・システム

通常方式:

各競技日ごとにスタートリスト順にビブを配布・回収するには、良い仕組みと手助けを必要とする(規則 MA) 56 も参照)。一方この方式は、旗門審判員による失格競技者の確認や、正確な計時へ向けたフィニッシュライン通過確認に有効である。

「個人割当」ビブ・システム:

「Criterium」における大きな選手規模を考慮すると、正確なスタート順に沿ったビブを毎日準備するよりも、大会期間中にわたり同一のビブを渡す

ことも考えられる(競技者識別の目的と、記念品として持帰りも可能)。この方式により、ビブの配布と回収のための多くの作業時間と、待ち行列を避けることが出来る。しかしながら、この方式の成功には以下の手順が必要となる:

a) スタートリスト

出走順に競技者をリストするだけでなく、実際に競技者が身に着けるビブ番号が、第二欄に記載されなければならない。

b) 旗門の不通過

旗門審判員が正確に不通過の競技者を確認するために、各旗門審判員はスタートリスト上で全競技者の通過、不通過をチェックする。競技者が通常の順番以外のビブで滑走する場合、正確にビブ番号を確認できないことが考えられる。旗門審判員には、その前後の審判員と声を掛け合って、通過競技者のビブ番号を再確認する様に指示をする。

c) ビブのセット数

同じビブ番号を避けるために、大会全体で(特注された)完全に1セットのビブを使用する。最悪の場合でも、B/CとAを分ける別色の2セットまでとする。

d) ビブ配布

ビブ(1から約500)の準備に当たり、カテゴリーC、BからAの順で、女子から男子、(生年に依って)年長者から年少者へ向けて、小さい順に番号を与える。これにより競技者は、年齢グループを確認し、スタートの待機に当たり自分のスタート時間を計算することができる。

D) 「FIS マスターズカップ最終戦」 – 特別規則

MA 81) 総合マスターズカップ

毎年、「FIS ワールドカップ」に準じて、クラスごとに「総合マスターズカップ優勝者」を決定する。全ての FIS マスターズカップ競技において、各クラス 30 位までの競技者が、その年を通して累積される FMC-ポイントを得る。クラスごとの総合マスターズカップ優勝者に加え各カテゴリー(A、B と C)、並びに各種目別(ジャイアントスラローム、スラロームとスーパー-G)の総合勝者も表彰される。アルペン複合総合勝者の表彰は、行わない。

MA 82) ポイント計算

クラス別総合マスターズカップの優勝者は、種目に関係なくシーズン中 12 ベスト順位のポイント合計が一番多い者とする。FMC 最終戦では 2 倍のポイントが与えられる(規則 MA)83 参照)ので、もし競技者が最終戦において通常シーズンで得たよりも高いポイントを獲得した場合、それがベスト順位内の結果でなかったとしても高い方のポイントを採用する。総合成績の対象となるために競技者は、少なくとも 6 FIS MC 競技に於いて完走し、公式な順位を得ていなければならない (DNF や DSQ は含まれない)。

順位ごとのポイント:

1 位: 100、2 位: 80、3 位: 60、4 位: 50、5 位: 45、6 位: 40、7 位: 36、8 位: 32、9 位: 29、10 位: 26、11 位: 24、12 位: 22、13 位: 20、14 位: 18、15 位: 16、16 位: 15、以降 30 位: 1 まで。

カテゴリー別(A、B と C)総合成績には、12 までの公式リザルト(ベスト順位)が対象となり、種目別にはそれぞれ 7 スラローム、7 ジャイアントスラローム、2 アルペン複合、並びに 4 スーパー-G を上限とする。FMC 最終戦では 2 倍のポイントが与えられる(規則 MA)83 参照)ので、もし競技者が最終戦において通常シーズンで得たよりも高いポイントを獲得した場合、それがベスト順位内の結果でなかったとしても高い方のポイントを採用する。

生年ごとのハンディキャップに付いては、マスターズ競技の小委員会で決定する。

種目別総合成績に関し、スーパー-G では 4 つ迄の公式リザルト、技術種目(スラロームとジャイアントスラローム)では 7 つ迄の公式リザルトが採用される。FMC 最終戦では 2 倍のポイントが与えられる(規則 MA)83 参照)ので、もし競技者が最終戦において通常シーズンで得たよりも高いポイントを獲得した場合、それがベスト順位内の結果でなかったとしても高い方のポイントを採用する。

生年ごとのハンディキャップに付いては、マスターズ競技の小委員会で決定する。

MA 83)**最終戦における 2 倍のポイント**

FIS MC 最終戦 (通常 SL と GS)では、規則 MA 82)に規定の通り 2 倍のポイントが競技者に与えられる。

FIS MC 最終戦のポイント:

1 位: 200、2 位: 160、3 位: 120、4 位: 100、5 位: 90、6 位: 80、7 位: 72、8 位: 64、9 位: 58、10 位: 52、11 位: 48、12 位: 44、13 位: 40、14 位: 36、15 位: 32、16 位: 30、以降 30 位: 2 まで。

もし FIS MC 最終戦が「World Criterium」の期間中に計画、実施された場合、追加の FIS MC 競技(通常 GS)のみが 2 倍ポイントの対象となる。

「World Criterium」期間中に追加の FIS MC 競技が実施されなかった場合は、2 倍ポイントは適用しない。

MA 84)**タイブレーク規則**

総合マスターズカップ成績の 1 位、2 位、あるいは 3 位に於いて同ポイントとなった場合、以下の方式により順位を決する:

- a) 最終競技の後、9 つのベスト順位の競技ポイント合計が、一番低い競技者を勝者とする。
- b) 競技者の 10 番目、11 番目あるいはそれ以降の順位が 9 番目と同じ場合は、それらの中で一番低い競技ポイントを採用する。

事 例:

ある競技者が 1 位 8 回、2 位 3 回の結果を持つ。この場合の同着順位決定には、

- 8 回の 1 位を採用して、それらの競技ポイントを合計する(その競技者の 2 位あるいは 3 位などの結果がより低い競技ポイントであっても関係なく)
- 9 番目を決めるには、3 つの 2 位の中で最も競技ポイントの低い 1 つを採用する。
- c) 2 名以上の競技者が、異なる順位の数と組合せて同ポイントとなる場合(6、7、8 あるいは 9 競技数もあり得る)も、同様の規則(競技ポイントの合計が最小)が適用される。

カテゴリー別(A, B と C)総合成績、並びに種目別(ジャイアントスラローム、スラロームとスーパーG)総合成績に於いて、1 位、2 位、3 位に同着が発生した場合には、最年長者が上位となる。

MA 85)**主催者の任務**

「FIS マスターズカップ最終戦」は、毎年その競技年度の終わりに開催される。主催者は、次の具体的な任務を遂行する様に求められる: 2 ないし 3 つのマスターズカップ競技(SL、GS、出来ればスーパーG も)を開催し、最終日は(閉会晩餐会の日として)土曜日に設定する。

MA 86)**総合成績の取り纏め**

主催者は、最終競技を含むそれまでの全てのマスターズカップ競技が累算された成績を受け取る。これらのポイントを算出する責任者が立ち会えない場合には、主催者が、最終競技からその日の夕方に行われる晩餐会までの間に、成績を取り纏める責任を持つ。電子ソフトウェアが提供され、表彰式に支障のない様に、総合成績リストが完成していなければならない。

MA 87)**賞品・賞状**

FIS マスターズ小委員会は、各クラス総合成績トップ 3 の勝者に、見栄えの良いトロフィーを授与する。それに加え、FIS が適切な賞状を用意し、主催者に依って競技者名、国名、順位、並びに FIS MC ポイントが記載される(もし総合成績対象競技者全員に用意できない場合は、少なくとも各クラスのトップ 5 には表彰式で手渡し、残りは後日郵送とする)。

MA 88)**表彰式 – 閉会晩餐会**

華やかなディナーパーティー(スポンサーが見つからない場合は、競技者負担でも良い)を、その年の閉会式に相応しい洗練された場として開催し、その日の競技の表彰から始めて、その後に総合トロフィーの授与を行う。表彰は、開催国のマスターズ委員長、開催組織委員長と共に、小委員会の委員長が執り行う。